

2011年10月28日
オーストラリア政府観光局
ジェットスター航空

オーストラリア政府観光局とジェットスター航空 アジアからの旅行需要喚起に向けて戦略的提携

オーストラリア政府観光局(以下「TA」、日本支局:東京都千代田区、日本局長:堀 和典)とジェットスター航空(以下「ジェットスター」、本社:豪州メルボルン、CEO:ブルース・ブキャナン)は、日本人観光客の増加とアジア太平洋地域におけるオーストラリアの認知度向上を図るため、1000万豪ドル(約8.1億円)のマーケティング事業の業務提携に合意いたしました。

契約期間は2014年半ばまでの3年間とし、TAとジェットスターは毎年少なくとも160万豪ドル(約1.3億円)ずつ拠出し、さまざまな共同マーケティング活動を行う予定です。

両パートナーは、より良心的な航空運賃とオーストラリアのユニークな魅力を活かし、日本、中国、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ニュージーランドからの旅行者増加に向け共同で取り組んで参ります。

オーストラリアへの外国人旅行者として第2位の市場であった日本人旅行者は、過去10年間で第5位まで低下しました。まずは200万豪ドル(約1.6億円)の資金を投じて日本市場の活性化を目指します。

TA本局局長のアンドリュー・マカボイ(Andrew McEvoy)は、「今回の戦略的提携はTAが継続的に実施しているアジアに特化した施策から発展したもののだが、日本市場へのアプローチとして、さらにパートナー航空会社との共同活動として新たなアプローチである」と話しています。「両者がアジア市場で長年に渡り実証してきたスキル・専門知識・資産を集約することにより真の価値を創出できるだろう。当局が誇る「私のイチオシ」キャンペーン(タグライン:「こんな体験したことある?オーストラリア。」)のコンテンツをジェットスターのホームページ(Jetstar.com)に掲載し、航空券予約とオーストラリアへの旅行を促進したい。」

「ジェットスターは2007年に日本に就航し、オーストラリアへの低価格運航を実現させ日本市場の前例を破った。その後、新世代の観光客がオーストラリアを訪問するようになった。2012年にジェットスター・ジャパンが世界第3位の経済大国、日本での国内線運航を開始すればオーストラリアは日本の主要都市からさらにアクセスしやすくなるだろう。」

「TAと同様、ジェットスターもアジアにおける事業拡大を目指しており、中国市場をはじめとして東南アジアおよび日本を含む北アジアには安定した大規模成長のチャンスがあると見込んでいる。日本はオーストラリア旅行業の輸出先として今後も上位6位に入ることは間違いないだろう。そのため双方にとって強固かつごく自然な合致と言える。」



News Release



TA は既にオーストラリアに就航している大手国際航空会社のほとんどと、長期的なマーケティング活動を共同で行う関係を築いています。

マカボイは「アジアの消費者へのリーチと波及力を拡大するため航空会社と連携してマーケティング強化に努めており、当局が展開するグローバルキャンペーンはアジア圏内で広く浸透している。」と述べています。

ジェットスターグループのブルース・ブキャナン (Bruce Buchanan) CEO は、「ジェットスターが持つアジアの低運賃ネットワークを拡大すればオーストラリア国内の主要観光地への空の旅をさらに多くのお客様に楽しんで頂けるため新たな需要の喚起につながるだろう」と話しています。「現在ジェットスターは、アジア太平洋地域で最大の売上高を誇るローコストキャリアである。当社は日本に就航する以前から日本でトップブランド 100 に入る企業として認知されている。」

「今回のパートナーシップを通じて、海外からの旅行客数を引き上げるための手段として観光地としてのオーストラリアの魅力とジェットスターの強力な低価格を活用する。オーストラリア政府観光局にとって多大な恩恵が期待できる。」

マカボイは、今回の業務提携でカバーする地域は、オーストラリア国内の旅行者による滞在中消費額を 2020 年までに 1400 億豪ドルに倍増するというオーストラリア政府観光局が打ち出した目標を達成するために不可欠なマーケットである。この新たな戦略的提携は、ジェットスターの広告メッセージをアジアに浸透させ航空輸送力を増強する上で大変重要な基盤となる。」と述べています。

オーストラリアを訪れる外国人観光客として日本人は現在 5 番目に大きなマーケットであり、2010 年に日本人観光客がオーストラリアでの消費額は約 15 億豪ドル (約 1215.4 億円) に上ります。2011 年 8 月末までの 1 年間に渡豪した日本人は 35 万 200 人で前年に比べ 11% 減少しています。TA は、日本人観光客による消費額を 2020 年までに 27~33 億豪ドル (約 2187.2~2673.9 億円) に引き上げることが可能だと確信しています。

なお、日本における共同マーケティングは 11 月から開始する予定で概要は後日発表いたします。

日本におけるジェットスターについて

ジェットスター・ジャパンは、シンガポールのジェットスター・アジアおよびベトナムのジェットスター・パシフィックに次いでアジアで 3 番目のジェットスターグループの拠点となります。ジェットスター・ジャパンの国内線はまだ正式決定しておりませんが、東京、大阪から札幌、福岡、沖縄などの主要都市への路線を予定しています。現在ジェットスターはケアンズ、ゴールドコーストと東京、大阪を結んで運航しており、日本からオーストラリアへの旅行者の 45% を占めています。2007 年の日本就航以来この路線で約 200 万人のお客様にご利用いただいています。

■ オーストラリア政府観光局 公式ウェブサイト: www.australia.jp